第9の目

像

木々が育たぬ大地……洞窟に眠る静かなるモノ……荒ぶる目覚め

【第9の巨像】

特徴と対策

巨大な甲羅を背負った亀のような巨像。体毛は腹部にしかなく、足や尻尾からは巨像の体に上ることができない。地形を利用して、巨像の体勢を変えることが攻略の第1歩だ。

巨像の急所と弱点

【左側面】

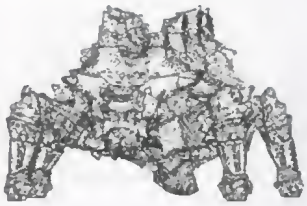
足首のどれもが急所になっているが、通常の状態では外殻に隠れていて攻撃することができない。巨像を間欠泉までおびき寄せて、間欠泉を腹に当てれば急所がむき出しとなるので、このときが急所を攻撃するチャンス。急所を弓で射抜けば、巨像をひっくり返すことが可能だ。弱点は頭部にある1ヵ所のみ。巨像につかまったら、頭部を目指して進んでいこう。ハードモードでも弱点の場所は頭部のみ。攻略法はノーマルモードと変わらない。

✖ ノーマル、ハードモード

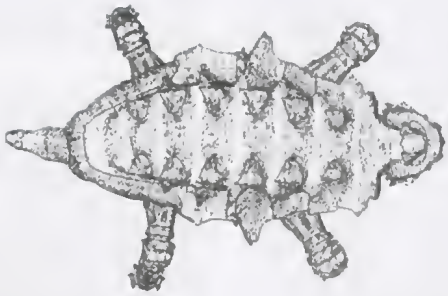
ステージ

黒い雲に覆われた、荒れ果てた土地。各所には間欠泉があり、定期的に水が勢いよく噴き出す。間欠泉にワンダが触れると、大きく吹っ飛ばされてしまうので、間欠泉周辺を移動するときは十分に注意したい。

四面図



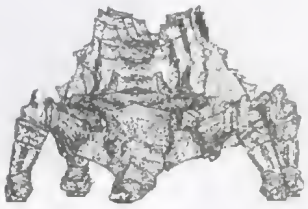
【前面】



【上部】

腹部は体毛で覆われているものの、手足と甲羅部分には体毛が生えていない。甲羅部分を移動する際は、巨像が左右に体を振る動きに注意。甲羅には突起があるため、落下する危険は少ないが、巨像が体を動かしたら念のためすぐにしゃがむこと。弱点を攻撃するときは、巨像の残り体力によって頭の振りが変化する。剣を突き刺しても動きを止められないので、巨像が頭を振り終えたら力を溜め始め、ワンダの体勢が崩れるまえに剣を突き刺そう。

【右側面】



【後面】

振り落とし行動一覧

行動　頭を上下に振る
└ 条件　ワンダが頭、顔に触れている

行動　頭を左右に振る
└ 条件　体力が半分以下でワンダが頭、顔に触れている

行動　体を左右に激しく振る
└ 条件　ワンダが背中、尻尾に触れている

行動パターン

ワンダを追いかけながら、頭部から光弾を発射してくる。一定以上離れると光弾を発射しなくなり、距離を詰めようと移動を始める。そのため、巨像を誘導するときは大きく距離を取るのが基本となる。ワンダが巨像の側面に移動すると、微妙に前進しながら旋回を行う。誘導するときは、この動きを考慮すること。

攻撃方法

ワンダを一定の距離に捕らえると、頭部から光弾を4連続で発射する。発射を確認してから避けるのは困難なので、巨像の正面では立ち止まらないこと。また、ワンダが至近距離にいる場合は、前足を振り上げて踏みつけようとする。踏みつける前に巨像は体を大きく沈ませるので、この動作を行ったらすぐに避難しよう。

対処法

光弾を食らうと、吹き飛ばされてしばらく動けなくなってしまう。ただし、アグロに騎乗していれば簡単に光弾をかわすことができる。巨像が出現したら、すぐにアグロに乗って走り出すといい。巨像が間欠泉に真っすぐ進むように調節しながら距離を取り、間欠泉へと誘導しよう。巨像注視を活用すると誘導しやすい。

巨像攻略法

1〜3　戦闘が始まったら、すぐにアグロに騎乗して移動開始。巨像を間欠泉へと誘導するように距離を取ろう。巨像注視を使えば、背後にいる巨像の位置を確認しやすい。巨像が間欠泉に近づいたら、Uターンして巨像に近づこう。アグロから降りて巨像の真下へと移動し、踏みつけ攻撃を誘うのが堅実だ。**4〜7**　巨像に間欠泉が当たったら、足首の急所を弓で射抜く。間欠泉が射出されている限り、巨像は体勢を崩し続ける。焦らず、できるだけ接近して確実に矢を当てること。急所を射抜くと巨像はひっくり返るので、巨像の腹部へ回り込み、体毛につかまって甲羅を目指してよじ登ろう。**8〜14**　甲羅の端に到達すると、巨像の体勢が戻る。落下しないように注意しながら、甲羅の上へ移動。尻尾側から中央を駆け抜けて頭部を目指そう。弱点を攻撃するときは、巨像が頭を振り終わったときに力を溜め始め、動き出すまえに剣を突き刺すこと。

7

8

9

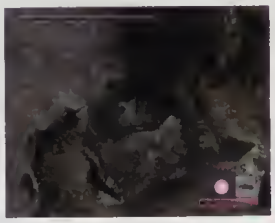
6

10

11

ハードモード

弱点の数と位置は変わらないので、攻略法に変化はない。ただし、巨像の体力が大幅に増えているので、弱点を攻撃している最中に腕力を消耗しきってしまうことがある。頭部にしがみつくことに固執せず、甲羅の上に移動してから腕力を回復させよう。



12

その他の倒し方

間欠泉を利用しない限り、巨像の弱点に到達することはできない。そこで、ここでは巨像が光弾を発射しなくなる戦法を伝授。巨像から離れたあと、愼乗りを駆使してアグロの陰に隠れると、巨像がワンダを見失って光弾を発射しなくなるのだ。

13

14

第10の像

孤立した砂丘……姿見せぬ軌跡……友とともに大地を掘るがす

【第10の巨像】

特徴と対策

蛇のような長い体を持ち、地中を移動してワンダに襲いかかる。背中は一面体毛で覆われているが、動きを止めない限りはしがみつくことができない。巨大な目が最大の特徴だ。

巨像の急所と弱点

弱点は背中に2ヵ所ある。背中は体毛で覆われているので、巨像の動きを止めることができれば、弱点を攻撃するのはたやすい。尻尾側と頭側、どちらの弱点から攻撃しても問題はない。また、急所ではないが巨像の目を矢で射抜くと、巨像は真っすぐにしか進まなくなる。直進し続けて巨大な柱や周囲の壁にぶつかると、地面から飛び出して動きが止まるので、弱点を攻撃する隙を作り出せる。ただし、アグロに騎乗しながら戦わなければ勝機はない。

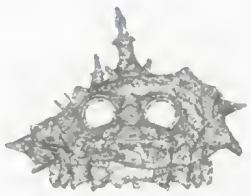
【上部】

ノーマル、ハードモード

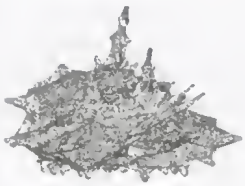
ステージ

洞窟内にある、砂で覆われた円形の広場。地面の凹凸はほとんどなく、いくつかの巨大な岩があるだけで、視界を遮るものも皆無。広場に点在している小さな岩は、巨像がぶつかっただけで簡単に砕かれてしまう。

四面図



【前面】



【後面】

【右側面】

【左側面】

地中に潜んでいる珍しい巨像。ワンダを追いかけるように地中を動き回っているため、全身像を把握できる機会は少ない。ただし、目を射ると壁に衝突して、無防備に背中を地上に出す。激突後は動きを止めるので、弱点を攻撃することができるようになる。地上に出ているときは、とき折り大きく動くことがあるため、頭側の弱点付近にいる場合は注意が必要だ。また、頭側は巨像の動きが激しいので、中央側に位置取るように心がけよう。

振り落とし行動一覧

行動　体を大きく左右に振る
└ 条件　壁に激突したあと

行動パターン

ワンダが広場にいるときは、どんな場所にいてもワンダの位置を感知して追いかけてくる。地中を移動するスピードは驚異的で、アグロに騎乗して最高速で移動しなければ簡単に追いつかれてしまう。大きな岩の近くにワンダがいる場合は、岩を避けるように周囲を旋回し続けるので、体力を回復するときに活用しよう。

攻撃方法

巨像の攻撃方法は単純明快。ワンダを追いかけて体当たりを仕掛けてくるだけだ。移動自体が攻撃方法といえる。進行方向に小さな岩があっても、岩を砕きながら移動を行う。このとき、移動速度が落ちることはない。アグロに騎乗して移動している場合、ある程度時間が経過すると、口を開いて飛びかかってくる。

対処法

どんなに機敏な動きを行っても、アグロに騎乗しない限り、巨像の追跡をかわすことはできない。巨像は、疾走中のアグロに近づくと地中から顔を覗かせるので、目を射抜くチャンスが生まれる。急角度で障害物にぶつからなければ、アグロは自動で走り続けるので、移動はアグロに任せて攻撃に集中すること。

巨像攻略法

1〜4　アグロに騎乗した状態で待機しつつ、巨像注視を使って巨像の位置を確認。巨像が近づいてきたのを確認したら、急発進を使って走り出そう。巨像の目を射るためには、ある程度巨像を引きつける必要がある。巨像注視を使いながら速度調節を行えば、体当たりを食らうことなく巨像を引きつけられる。巨像の目を射抜くときは、まず巨像注視を使ったまま弓を構えること。このあと、巨像の顔に照準が合ったときにL1ボタンから手を離せば、簡単に狙いを定めることができる。無事に巨像の目を射抜いたら、巨像の正面から回避しておくといい。**5〜7**　巨像が壁に衝突したら、アグロに騎乗したまま巨像の背中へジャンプ。まずは尻尾側の弱点に力を最大まで溜めて剣を突き刺そう。弱点の紋様が消えると、巨像は地中へと戻っていく。**8〜13**　あとはこれまでの行動をくり返し、ふたつの弱点の紋様が消えるまで剣を突き刺すだけだ。

ハードモード

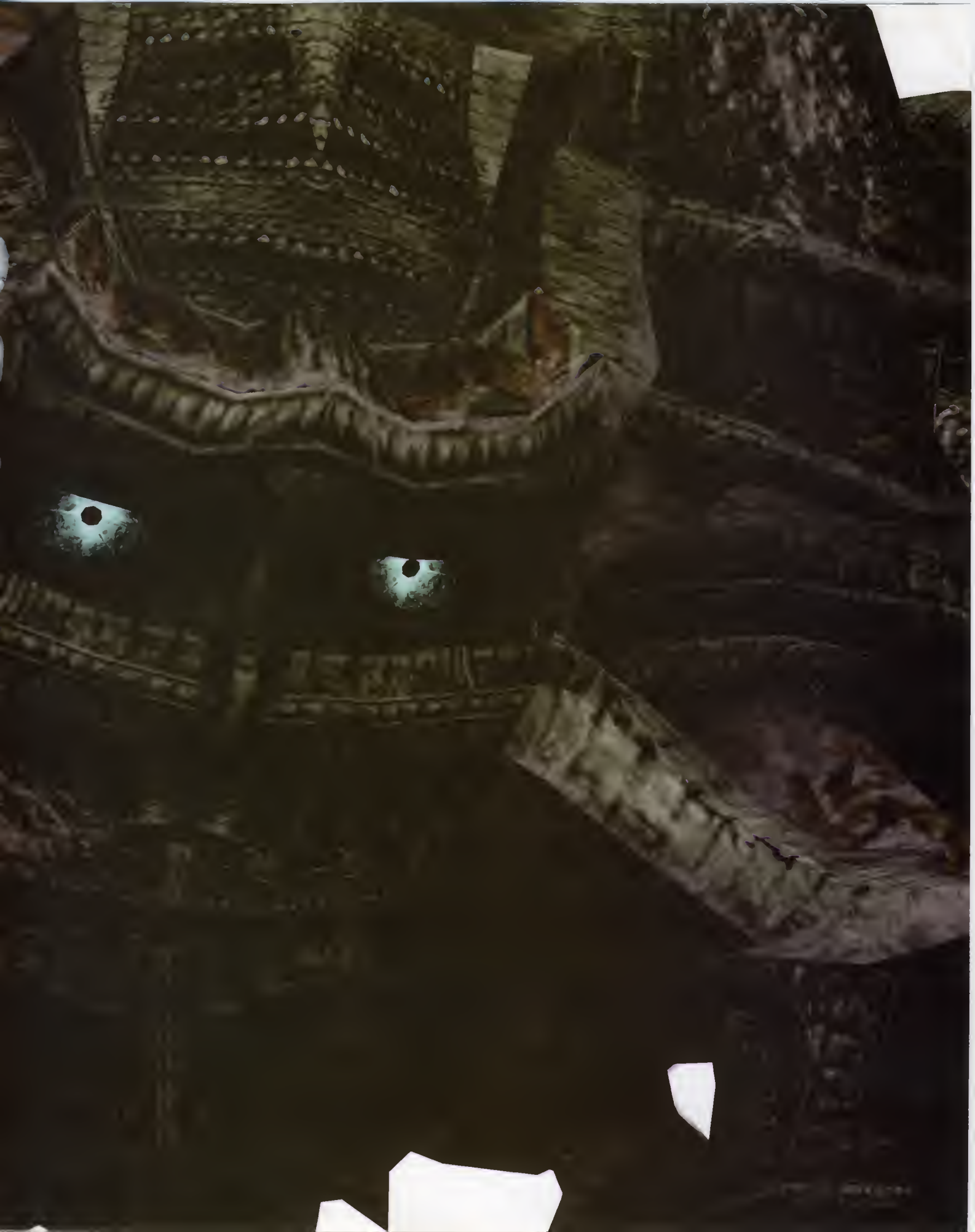
弱点の数と位置に変化はない。ただし、巨像の攻撃力が高くなっているので、巨像の目を射るまでは慎重な操作が求められる。体力も増えているため攻撃に時間はかかるものの、巨像が地面に潜る前に紋様が消えるまで剣を突き刺せるので、焦る必要はない。

その他の倒し方

巨像の目を射る際、じつは目を閉じているときに矢を射っても、巨像の視界を奪い、壁に激突させることができる。目印となるものがないので矢を当てるのは難しいが、地上に顔を出したときにいつでも狙えるという利点があるので試す価値はある。

第11の王像

湖を望む祭壇……荒れた番人……炎を絶やさぬ



【第11の巨像】

特徴と対策

ワンダの身の丈ほどの大きさしかない小型の巨像。雄牛のような姿をしているが、体が小さいだけあって驚くほど機敏な動きを見せる。火を恐れる習性を持つ、珍しい巨像だ。

巨像の急所と弱点

急所はなく、弱点は背中にひとつある。巨像の体は堅い外殻で覆われているため、このままでは攻撃が通じない。巨像の外殻を剥がさない限り、弱点を攻撃することはできないのだ。弱点の紋様は背中の中央付近に浮き出てるが、判定は非常に広い。剣が突き刺さる部分ならば、臀部近くでもダメージを与えられる。巨像の背中にしがみついたときは、紋様が浮かんでいる場所は意識せず、大雑把に剣を突き刺しても問題はない。

【上部】

✕ ノーマル、ハードモード

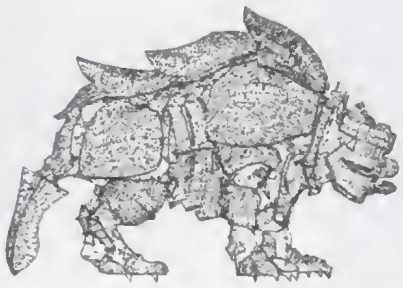
ステージ

砂漠にぽっかりと口を開けた崖下にある、篝火が揺らめく祭壇のような場所が戦いの舞台。戦闘開始直後、巨像は祭壇付近を動き回っているが、外殻を剥がされると谷底の広場まで縦横無尽に駆け回るようになる。

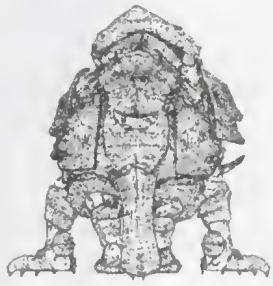
四面図

【前面】

【左側面】



【右側面】



【後面】

外殻を剥がすことができれば、背中にある体毛につかまれるようになる。ワンダが巨像につかまると、巨像は細かく体を震わせる。このとき、大きく揺れている尻尾に当たると、吹き飛ばされてしまうので要注意。背中にしがみついてしばらくすると、巨像は必ず走り出す。疾走中もしがみつき状態を維持できるが、体勢を大きく崩されてしまう。ただし、巨像に対して横になるように位置取れば、巨像が動いていても体勢を崩さずに攻撃できる。

振り落とし行動一覧

行動　体を細かく左右に振る
└ 条件　ワンダが巨像に触れている

行動パターン

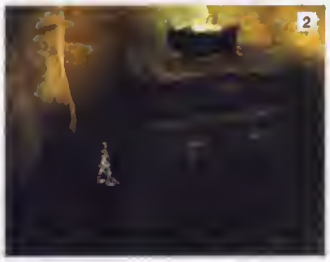
基本的には、ワンダに向かって突進攻撃を仕掛けてくる。ワンダが近距離にいる場合は、爪で引っかくような攻撃を繰り出す。また、ワンダが火を灯した松明を持っている場合は、一定距離以上は近づこうとせず、徐々に後ずさりしていく。背中にしがみつくと、周辺を走り回ってワンダを振り落とそうとする。

攻撃方法

攻撃方法はワンダとの距離に応じて変化。距離が離れている場合は突進、距離が近い場合は前足の爪でひっかくような攻撃を繰り出す。注意すべきは突進で、食らうと吹き飛ばされて、しばらく倒れたままとなってしまう。倒れた際、ボタンを連打しながら左スティックを素早く動かすと、立ち上がるまでの時間が短縮できる。

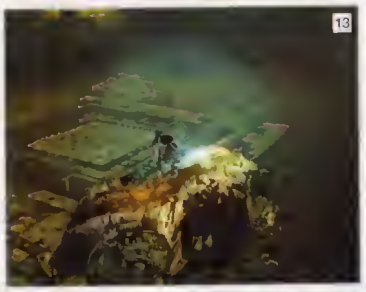
対処法

巨像を篝火のある台座に突進させると、篝火から松明が落下。近づいて◉ボタンを押すと松明を拾うことができる。松明を持った状態で、◉ボタンか▣ボタンを押すと火を灯すことが可能だ。火のついた松明を持って巨像に近づき、崖際に追い込んで谷底へ突き落とせば、落下時の衝撃で背中の外殻が剥がれる。



巨像攻略法

1〜4　まずは、篝火のある台座の側面へ。つぎに、左右にある出っ張りをよじ登り、台座の上へ移動しよう。すると、巨像が台座に突進してくるので、衝撃で松明が床に落ちる。巨像の隙をついて松明を拾ったら、再び台座の上へ。松明は◉ボタンで取ることができるが、剣を装備していると剣をかかげてしまうことがある。弓に装備を変えておくか、素手の状態で拾うと安心だ。**5〜9**　松明に火をつけたら、床に降りて巨像を崖際に追い込む。近づくだけで巨像は後ずさっていくが、近づきすぎると前足で攻撃されるので注意が必要。左スティックをわずかに倒すか、R1ボタンを押しながら歩くといいだろう。**10〜14**　巨像を谷底に落として背中の外殻を剥がしたら、巨像が起き上がって台座周辺に戻ってくるまで待機。台座の上から巨像の背中に飛び移って弱点を攻撃しよう。剣を1回突き刺したら台座の上へ戻るようにして戦えば、より安全だ。



ハードモード

弱点はノーマルモードと変わらず、背中にひとつあるのみ。攻略法に変化はなく、外殻を剥がして弱点を攻撃するだけだ。最大まで力を溜めて3回剣を突き刺せばトドメを刺すことができる。胸に自信があるのならば、台座から下突きを試すのも一興だ。

その他の倒し方

巨像を谷底に落としたときに、巨像が起き上がるのを待たず、飛び降りて弱点を攻撃する方法もある。ただし、巨像の体から落ちてしまうと、広場には段差がないために再び背中に乗るのは非常に困難となる。相応の覚悟を持って挑んでほしい。

12の第三像

湖に浮かぶ楽園……いかずちを持つ静かなるモノ……高台に渡るための動く架け橋

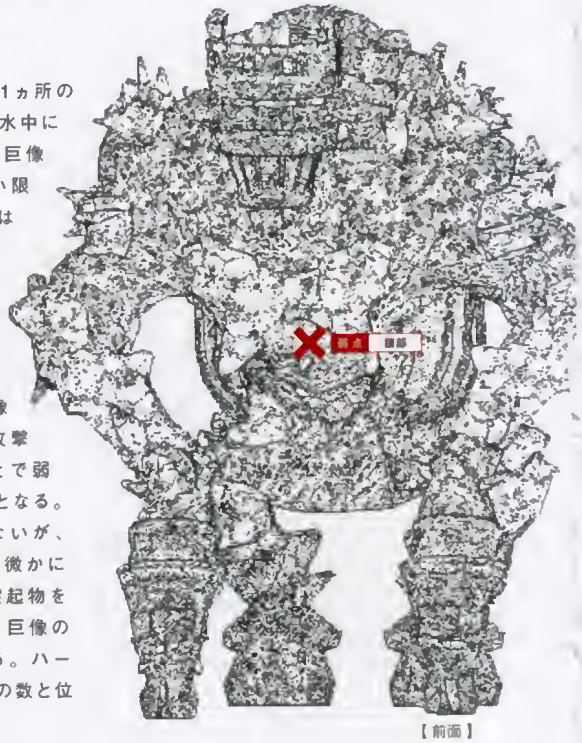
【第12の巨像】

特徴と対策

湖から半身が出るほどの巨躯を誇る四足の巨像。目がなく、頭に生えた2本の角が特徴的だ。湖を悠然と動き回り、ワンダが足場の屋根にいるときは光弾を発射して攻撃してくる。

巨像の急所と弱点

弱点は胸部にある1ヵ所のみ。だが、胸部は水中に隠れているため、巨像の体勢を変えない限り、攻撃することはできない。巨像の背後から体にしがみつき、湖に点在する足場の屋根へとジャンプ。その後、巨像が前足を上げる攻撃を誘発させることで弱点への攻撃が可能となる。また、急所ではないが、頭部に生えている微かに光る岩のような突起物を剣で攻撃すると、巨像の動きを制御できる。ハードモードでも弱点の数と位置に変化はない。



【前面】

✖ ノーマル、ハードモード

ステージ

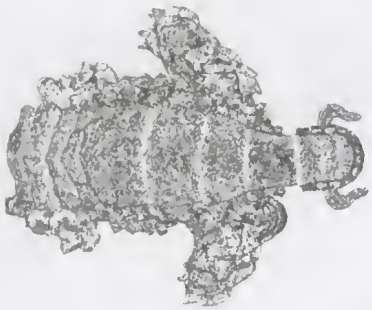
滝の奥に広がる美しい湖が戦いの舞台となる。湖には5つの足場が点在しており、そのうちの3つには屋根がついている。屋根つきの足場は柱や台座といった障害物が多いため、巨像の攻撃を回避するときにも重宝する。

四面図

【後面】

【左側面】

【右側面】


【上部】

頭部、そして背中は体毛で覆われているが、手足には体毛が生えていないため、しがみつくことはできない。背後から体をよじ登ることになるのだが、ワンダが背中にいるときには、巨像が大きく体を左右に動かす。また、頭部にいるときには頭を振り上げて暴れるほか、旋回時にも体勢を崩されることがあるので注意が必要だ。頭部にある突起物は前面と左右に生えていて、前面を叩くと巨像が前進、左右を叩くと巨像が叩いた方向に向きを変える。

振り落とし行動一覧

行動　頭を上下に振る
└条件　ワンダが頭、顔に触れている

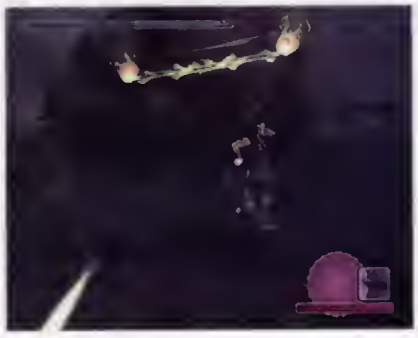
行動　体を大きく左右に振る
└条件　ワンダが背中に触れている

行動パターン

ワンダに近づきながら、頭部にある角から光弾を発射してくる。ワンダが巨像の体にしがみついているときには、5つの足場を巡回するように湖を周回。また、ワンダが足場の屋根にいる場合は、前足を振り上げる攻撃を仕掛けてくる。この攻撃は、屋根がない足場にいる場合でも、矢を当てることで誘発できる。

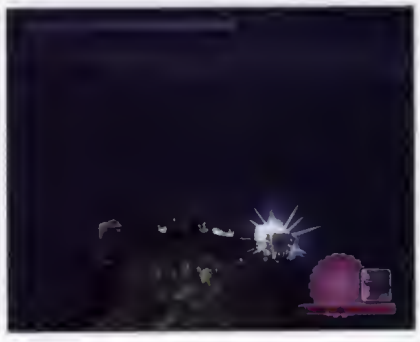
攻撃方法

頭部から突き出た2本の角から、光弾を発射する。光弾を食らうと大きく吹っ飛ばされるので、足場にいるときは注意が必要だ。ただし、水中にいるときには、光弾は水に弾かれるのでダメージを食らう心配はない。光弾が発射されるときには、独特の効果音が聞こえるので回避を行うタイミングはつかみやすい。



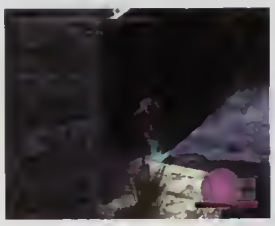
対処法

まず、水中を移動して巨像の背後へ。背後から体毛をよじ登り、頭部の突起物を剣で叩いて巨像を屋根のある足場へと誘導。足場の手前まで巨像を誘導させたら、屋根に向かって飛び移り、中央にある柱を盾にして光弾を回避。巨像が前足を振り上げたときに胸部へジャンプしてしがみつけば、弱点を攻撃できる。



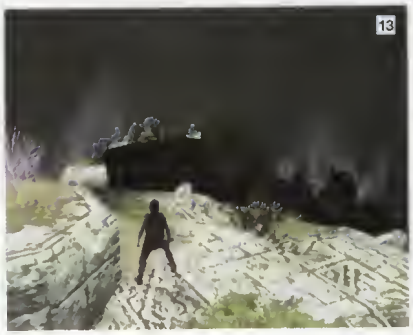
ハードモード

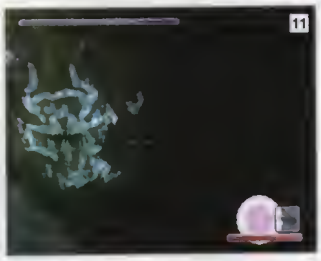
弱点の数と位置は変わらない。ちなみに、弱点に剣を突き刺した際、足場の屋根を壊されなかった場合は、柱の根本から巨像の顔にジャンプしてしがみつくことが可能だ。難度は高いものの、撃退までの時間が大幅に短縮できるので試す価値は十分ある。

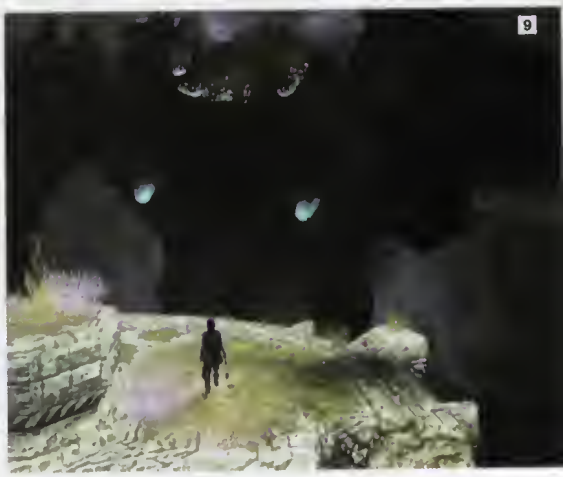


その他の倒し方

突起物を叩いて巨像を誘導しなくても、足場の屋根に飛び移ることが可能だ。巨像の体にしがみついたあと、頭部には移動せずに背中で待機。巨像が足場に近づいたら頭部へ移動して、頭を振り上げた瞬間にジャンプ。これで一気に屋根へ飛び移れるのだ。







巨像攻略法

1〜5　まずは、水中を移動して巨像の背後に回り込み、尻尾から体毛にしがみつく。巨像の体に接触してもダメージを食らうことはないので、胴体と足のあいだをすり抜けるように移動するといい。背中につかまったら、真っすぐ頭部を目指してよじ登ろう。**6〜7**　頭部にある突起物を剣で叩いて屋根のある足場近くまで巨像を誘導。足場の手前まで移動したら、頭部から屋根へとジャンプ。**8〜14**　屋根に飛び乗ったら、すぐに中央の柱の陰へ。光弾を回避後、巨像の正面へと移動しよう。巨像が前足を振り上げ、屋根に足が乗ったことを確認したら、胸部に向かって飛び移ること。無事にしがみついたあとは、力を最大まで溜めて剣を突き刺すだけだ。ちなみに、巨像の体力が半分以下になると、巨像は足場に体当たりをして屋根を破壊する。屋根が破壊されてしまうと、その足場からは弱点へ飛び移れなくなるので、残っている足場を利用するしかない。

第13の巨体

広大な砂地……空を漂う巨大な軌跡……おまえはひとりではない……

象

【第13の巨像】

特徴と対策

蛇のように長い体を持ち、大空を優雅に飛んでいる巨像。上空を飛び回っているだけで、攻撃を仕掛けてくることはない珍しい巨像だ。撃退には、飛び乗るための知恵が求められる。

巨像の急所と弱点

【左側面】

急所が3ヵ所もあり、腹部にある白く膨らんだ浮き袋のような部位はすべて急所となっている。この急所は、弓を当てると黒く変色。すべての急所を射抜くことで巨像の高度を下げることができる。弱点は、急所と同じく3ヵ所あり、背中にある蓋のような部位の根本にそれぞれある。蓋のような部位は、巨像が地面に潜るときに閉じてしまうため、飛行中にしか攻撃することはできない。ハードモードでも、急所と弱点の数と位置に変更はない。

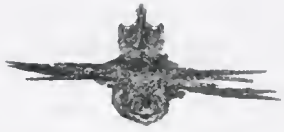
✕ ノーマル、ハードモード

ステージ

広大な砂漠で巨像と戦うことになる。岩山や障害物があるものの、アグロに乗って巨像を追いかける分には、ほとんど邪魔にならない。巨像からダメージを食らうことはないので、落ち着いて対応するといいだろう。

四面図

【前面】



【後面】

【上部】

【右側面】

背中が一面体毛に覆われているため、巨像の体にしがみつくことができれば、落下の危険はほとんどない。また、巨像が体を大きく揺らすことはないので、体勢を崩されることも皆無だ。ただし、弱点の紋様が消えたときに巨像は左右に傾いたあと回転するので、このときだけはしっかりと体毛にしがみつくこと。胴体部分へ移動したあとに地面へ落ちてしまうと、急所への攻撃からやり直しになってしまうので慎重に行動しよう。

振り落とし行動一覧

行動　体全体を右回りで一回転させる
└条件　いずれかの弱点の紋章が消える

行動パターン

ワンダを追いかけるわけでもなく、上空を悠然と飛行し続けている。移動速度はアグロの最高速と同程度。アグロに騎乗して巨像を追いかければ、急所を射抜くことはたやすい。ただし、巨像との距離を縮めるためには、巨像の動きを把握して、移動方向を予測して近づく必要がある。巨像注視を活用すること。

攻撃方法

ワンダに対して攻撃を仕掛けてくることはない。ダメージを食らうことがあるのは、巨像の体から落下したときだけだ。巨像の体にしがみついたあと、一定時間が経過すると巨像は地中に潜るという性質がある。この際、巨像の体にぶつかるとダメージを食らうので、地面に潜る直前にわざと落下するのも手だ。

対処法

急所をすべて矢で射抜くと、巨像は低空を飛行するようになる。巨像は、翼が地面に接地するように飛行するので、アグロに騎乗して近づき、タイミングを見計らって翼へと飛び移ろう。翼にしがみつくと、巨像は翼を広げて上空へと飛び立つ。翼から背中へ飛び移れば、弱点を攻撃できるようになる。

ハードモード

急所と弱点の数と位置は変わらないので、ノーマルモードの攻略法が通用する。巨像からダメージを食らうことはないので、注意点は皆無。ちなみに、弱点の紋様を消すためには剣を3回突き刺す必要があるので、巨像が地中に潜るまでに倒すことはできない。

巨像攻略法

1〜5　効率よく3ヵ所の急所を射抜くには、アグロに騎乗して近づくのがいちばん。巨像の進行方向を予測しながら矢を射ると、さらに命中率はアップする。急所を攻撃する際に制限時間はないので、落ち着いて行動するように心がけよう。**6〜7**　急所を射抜くと巨像の高度が下がる。アグロに騎乗して近づき、巨像の翼へと飛び移ろう。尻尾側の弱点から攻撃すると効率がいいので、後方にある翼にしがみつくと無駄がない。**8〜15**　翼につかまってしばらくすると、巨像は上空へ移動する。背中に飛び移ったら、まずは尻尾側の弱点を攻撃。そのあと頭部へ向かって移動しながら、背中の中心と頭部近くにある弱点を攻撃しよう。ちなみに、ジャンプを多用しながら風の勢いを利用して移動しない限り、巨像が地中に潜るまでにすべての弱点を攻撃することは不可能。巨像が地中に潜ったあとは、姿を現すまで待機し、再び体によじ登って残りの弱点に剣を突き刺そう。

その他の倒し方

巨像の急所を射抜いたとき、ごく稀に地面まで高度を下げるときがある。この状態のときは、胴体部分に直接飛び移ることができるので、撃退時間を大幅に短縮することが可能だ。ただし、巨像はすぐに高度を上げてしまうので、一瞬の隙を見逃さないこと。